本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社

MA9901-005501A

CASIO

P

1920・1921*JA

取扱説明書

1920・1921

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に傷害を与えることは一切ありません。本機の特徴、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれをふせぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

お手入れについて	分解しないでください
ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。	本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やケガの原因となることがあります。	夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒や交通事故の原因となることがあります。
夜間、道路でマラソンやジョギングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒や交通事故の原因となることがあります。	オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目　次

安全上のご注意

操作のしくみと表示の見方 ---------- 4
- ■デモ機能について ····· 5

表示照明用 EL バックライトについて ---- 6
- ■ボタンを押して発光させる ····· 6
- ■時計を傾けて発光させる ····· 6

ビートシーケンサーの使い方 ---------- 8
- ■表示の見方 ····· 8
- ■ボタン操作 ····· 9
- ■リズムのセット ····· 10
- ■プリセットリズムのリセット(もとに戻す) ·· 12
- ■リズムの連続プレイ ····· 14

トラックカウンターの使い方 ---------- 15
- ■表示の見方 ····· 15
- ■ボタン操作 ····· 16
- ■トラックカウンターのしかた ····· 17

アラームの使い方 ---------- 18
- ■ボタン操作 ····· 18
- ■表示の見方 ····· 19
- ■アラーム・時報のオン／オフ ····· 19
- ■アラーム時刻のセット ····· 20

ストップウオッチの使い方 ---------- 22
- ■表示の見方 ····· 22
- ■計測のしかた ····· 22

デュアルタイムの使い方 ---------- 24
- ■デュアルタイムのセット ····· 24

時刻・カレンダーの合わせ方 ---------- 26
- ■秒の合わせ方 ····· 26
- ■時刻・カレンダーの合わせ方 ····· 27
- ■ご注意 ····· 28

製品仕様 ---------- 29

ご使用上の注意 ---------- 30

お手入れについて ---------- 31

電池交換について ---------- 32

操作のしくみと表示の見方

ビートシーケンサーモード

時刻モードでⒽ・Ⓛ・Ⓟボタンのいずれかを押します。



P-8

●操作(モード)がわからなくなったときは

Ⓜボタンを何回か押すと曜日が表示され、時刻モードに戻ります。

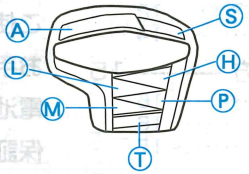
Ⓗ・Ⓛ・Ⓟ

Ⓜ

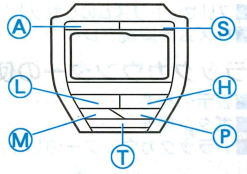
時刻モード



〈モジュールNo.1920〉



〈モジュールNo.1921〉



※Ⓣボタンを押すと、ライトが点灯します。

★モジュールNo.は時計本体の裏側に刻印されています。なお、本書ではイラストおよび表示をNo.1920で説明しています。

Ⓜボタンを押すごとにモードが切り替わります。(確認音が鳴ります)

トラックカウンターモード

Ⓜ



P-15

Ⓜ

アラームモード



P-18

Ⓜ

ストップウオッチモード



P-22

Ⓜ

デュアルタイムモード



P-24

Ⓜ

デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ機能」に設定されています。

※ デモ機能とは本機の機能の一部を自動的に表示するものです。

● デモ機能の解除

デモ機能の表示となっているときは、Ⓜボタンを約3秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。



デモ機能に設定するには同様にⓂボタンを約3秒間押し続けます。

表示照明用 ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる
～手動発光～

Ⓣボタンを押します

➡ Ⓣボタンを押すと約２秒間文字板が発光します。



※ オートライトOFFのときもⓉボタンを押すと発光します。

■時計を傾けて発光させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻やストップウオッチなどを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約２秒間発光します。

準備　時刻モードのときⓈボタンを１～２秒間押し続けて、オートライトON（）にします。





<オートライト作動しません>　<オートライト作動します>

※ オートライトONのとき、Ⓢボタンを１～２秒間押し続けるとオートライトOFFに戻ります。
※ オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。
※ 文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にⓂボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

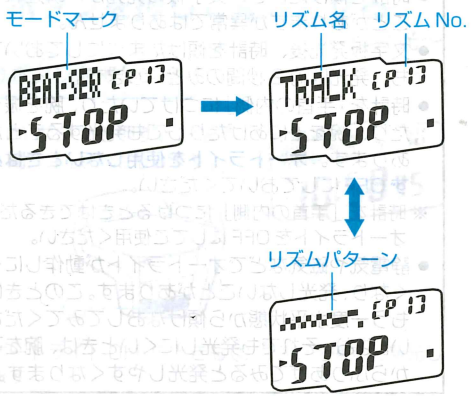
- オートライトが作動するのは、を点灯させてから２～３時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にが消えオートライトOFFになります。
※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓢボタンを１～２秒間押してを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（29ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。**
※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

ビートシーケンサーの使い方

ビートシーケンサーは、好きなリズムをメモリーさせ、繰り返して聴くことができます。
また、ピッチをかえたり、リバース（逆再生）させて聴くこともできます。
メモリーできるリズムは15個で、あらかじめ4個にはプリセットリズムがメモリーされています。
※プリセットされている4個のメモリーにも新たにリズムとリズム名をセットできます。

■表示の見方

ビートシーケンサーモードに切り替えると、モードマークを表示後、前回聴いたリズムを表示します。



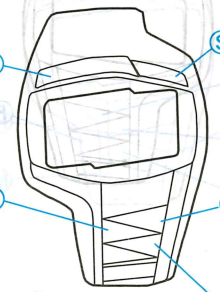
- **リズムNo.**
  P1～P4：プリセットリズム
  01～11：フリーメモリー
- **リズム名**
  TRACK　：プリセットリズム
  入力したリズム名　：フリーメモリー
  TRK-COMP　：連続プレイ

ビートシーケンサーモードにするには

時刻モード（曜日を表示）のときにⒽ／Ⓛ／Ⓟボタンのいずれかを押します。
※この章での操作は、ビートシーケンサーモードで行ないます。



■ボタン操作



セット
リズムセット状態に切り替えます。

リバース
プレイ／リバースを切り替えます。

※セット・リズムサーチ・ピッチ・リバースの操作は、リズムがストップしているときにできます。

リズムサーチ
P1～P4、01～11のリズムが選べます。

ピッチ
リズムのピッチを3種類から選べます。
HOUSE（ハウス）　：ゆっくり
TECHNO（テクノ）　：中くらい
Dr&B（ドラム＆ベース）：速い

プレイ／ストップ
リズム音を8回繰り返します。

●連続送り
Ⓢボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

■リズムのセット

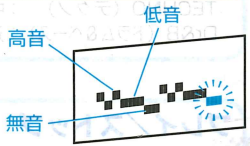
リズムをセットしてから、リズム名をセットします。

2. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。

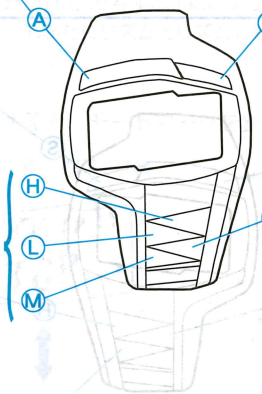
1音目が点滅



3. リズムをセットする
Ⓗボタン：高音を入力
Ⓛボタン：低音を入力
Ⓜボタン：無音を入力
※押すと次の場所に点滅が移動します。



リズムは高音と低音、無音を16音まで組み合わせて作ります。



1. リズムNo.を選ぶ



リズムNo.

リズムのモニター
押すごとにスタート／ストップします。



●リズムの訂正とクリアー

間違えたときはリズムパターンが点滅しているときにⓈボタンを押すと1音戻り、無音になります。
やり直すときはⓈボタンを2秒以上押し続けると“CLEAR”と表示して、クリアーされます。

6. セットを終わらす

4. リズム名セットに切り替える

1桁目が点滅

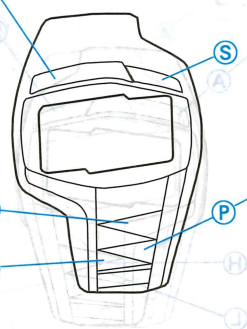


5. リズム名をセットする
Ⓗボタン：1文字進める
Ⓜボタン：1桁進める
Ⓢボタン：1桁戻る

リズム名



リズム名は10文字以内で以下の中から選べます。
スペース、アルファベット（A～Z）、
数字（0～9）、－、.、／、:、?、♥、♪



●プリセットリズムのリセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

リズムのモニター
押すごとにスタート／ストップします。



●リズム名の訂正とクリアー

間違えたときはリズム名が点滅しているときにⓈボタンを押すと1文字戻り、削除されます。
やり直すときはⓈボタンを2秒以上押し続けると“CLEAR”と表示して、クリアーされます。

■プリセットリズムのリセット（もとに戻す）

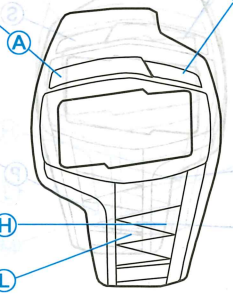
あらかじめプリセットされている４個のメモリーを変更しても、もとに戻すことができます。

1. リズム No. を選ぶ

2. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。

1 音目が点滅





3. リズムをリセットする
Ⓗ ボタンを押しながらⓁ ボタンを押します。



※ リズムとリズム名は別々にリセットします。

プリセットされているメモリーの変更のしかたは、
他のメモリーのセットと同じです。
操作については 10 ページをご覧ください。

● プリセットリズムのリセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

4. リズム名に切り替える

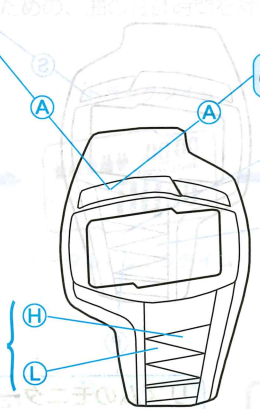
1 桁目が点滅



5. リズム名をリセットする
Ⓗ ボタンを押しながらⓁ ボタンを押します。

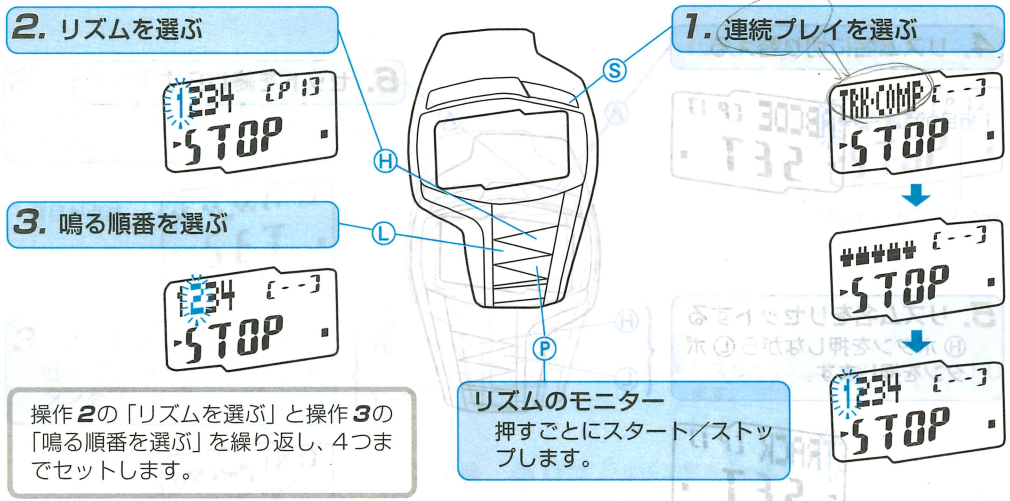


6. セットを終わらす



■リズムの連続プレイ

セットしてあるリズムを４つまで組み合わせて、連続で鳴らすことができます。



●ピッチとリバース

ピッチとリバースは、それぞれのリズムのときに設定にします。

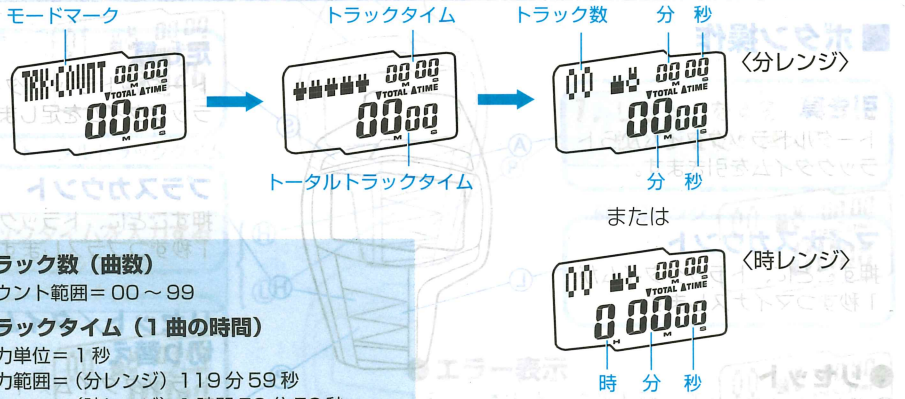
●連続送り

Ⓢボタン・Ⓗボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

トラックカウンターの使い方

トラックカウンターはダビング等のための、曲の合計時間を計算する機能です。

■表示の見方



- **トラック数（曲数）**
  カウント範囲＝00～99
- **トラックタイム（1曲の時間）**
  入力単位＝1秒
  入力範囲＝（分レンジ）119分59秒
  （時レンジ）1時間59分59秒
- **トータルトラックタイム（全曲の合計時間）**
  表示範囲＝（分レンジ）1439分59秒
  （時レンジ）23時間59分59秒

※表示はⓅボタンを押すごとに分レンジと時レンジを選べます。（タイムレンジ切り替え）

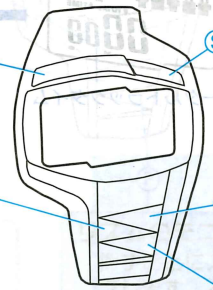
トラックカウンターモードにするには

時刻モード（曜日を表示）のときにⓂボタンを１回押します。

※この章での操作は、トラックカウンターモードで行ないます。



■ボタン操作



引き算

トータルトラックタイムからトラックタイムを引きます。

足し算

トータルトラックタイムにトラックタイムを足します。

マイナスカウント

押すごとに、トラックタイムが１秒ずつマイナスします。

プラスカウント

押すごとに、トラックタイムが１秒ずつプラスします。

リセット／タイムレンジ切り替え

トラックタイム／トータルトラックタイムをリセット（０にする）します。

また、リセット時に押すと分レンジと時レンジを切り替えます。

●リセット

Ⓟボタンによるリセットは、トラックタイムがあるときは１回押すとトラックタイムがリセットされ、もう１回押すとトータルトラックタイムがリセットされます。

■トラックカウンターのしかた

3. 足し算または引き算をする

Ⓢボタン：足し算

Ⓐボタン：引き算

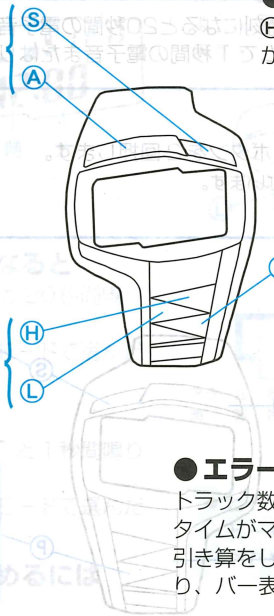


2. トラックタイムを入力する

Ⓗボタン：プラス

Ⓛボタン：マイナス





●連続送り

Ⓗボタン・Ⓛボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

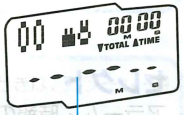
1. リセットをする／タイムレンジを切り替える

例）分レンジ



●エラー表示

トラック数やトータルトラックタイムがマイナスとなるような引き算をしたときはエラーとなり、バー表示となります。



アラームの使い方

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音またはリズムで知らせてくれます。
また、毎正時（00分のとき）にもリズムで１秒間の電子音またはリズムを鳴らすこともできます。

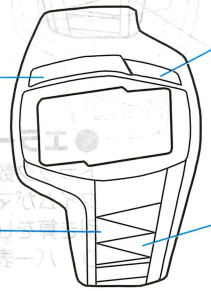
アラームモードにするには

時刻モード（曜日を表示）のときにⓂボタンを２回押します。

※この章での操作は、アラームモードで行ないます。



■ボタン操作



セット

アラームセット状態に切り替えます。

セレクト

アラーム・時報のオン／オフを選べます。

リズムサーチ

電子音(- -)、P1～P4、01～11と連続プレイ(12)のリズムが選べます。

リズムのモニター

約２秒以上押し続けると、押している間だけ電子音またはセットされているリズムが聴けます。

■表示の見方



● リズム No.

- -	：電子音
P1～P4	：プリセットリズム
01～11	：セットリズム
12	：連続プレイ

●アラームのセット時刻になると

電子音(- -)を選んだときは、電子音が20秒間鳴ります。
リズムを選んだときは、アラームモードで選んだリズムを８回繰り返します。

●毎正時になると

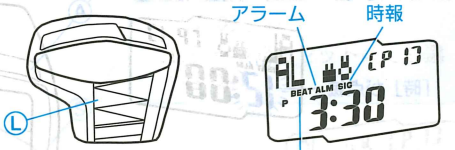
電子音を選んだときは、“ピッピッ”と１秒間鳴ります。
リズムを選んだときは、アラームモードで選んだリズムが１回（16音）鳴ります。

●鳴っているアラームを止めるには

いずれかのボタンを押します。

■アラーム・時報のオン／オフ

アラームモードでⓁボタンを押すごとに、以下のようにアラーム・時報のオン／オフが切り替わります。





● ビートマーク
ビートマークが点灯しているときは、アラーム・時報がリズムで鳴ります。

■アラーム時刻のセット

「時」をセットしてから、「分」をセットします。

1. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。



「時」が点滅

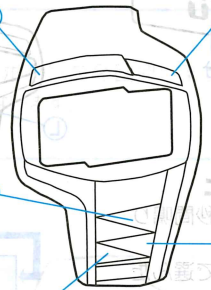
2.「時」をセットする



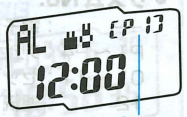
3.「分」を点滅させる



「分」が点滅



リズムのサーチ
セット中でもセット後でも選べます。



リズム No.

リズムのモニター
約2秒以上押し続けると、押している間だけセットされているリズムが聴けます。

●連続送り
Ⓗボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

- 時のセットのとき、午前／午後（P）にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

- アラーム時刻のセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

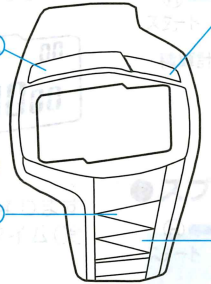
5. セットを終わらす



4.「分」をセットする



分



リズムのサーチ
セット中でもセット後でも選べます。



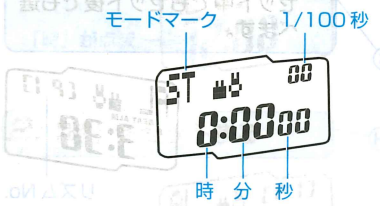
リズム No.

リズムのモニター
約2秒以上押し続けると、押している間だけセットされているリズムが聴けます。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

■表示の見方

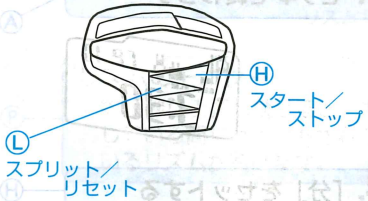


計測単位＝1/100秒

計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）

■計測のしかた

●Ⓗボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



ストップウオッチモードにするには

時刻モード（曜日を表示）のときにⓂボタンを3回押します。

※この章での操作は、ストップウオッチモードで行ないます。



●計測がストップしているときにⓁボタンを押すと0時間00分00秒00（リセット表示）になります。



●計測中にⓁボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム（途中経過時間）計測となります。



●通常の計測

Ⓗ → Ⓗ → Ⓛ

スタート　ストップ　リセット

積算計測…　ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒽボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

Ⓗ → Ⓛ → Ⓛ → Ⓗ → Ⓛ

スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓗ → Ⓛ → Ⓗ → Ⓛ → Ⓛ

スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは、時刻モードの現在時刻とは別に海外時刻などもう１つの時刻をセットできる機能です。

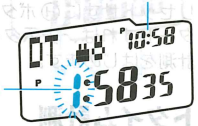
■デュアルタイムのセット

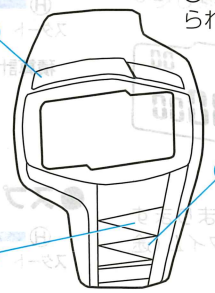
「時」をセットしてから、「分」をセットします。

1. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。

現在時刻

「時」が点滅





2. 「時」をセットする



●連続送り
Ⓗボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

12/24 時間制切り替え
表示が点滅していないときに押すと、押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。



●12 時間制表示とは 1 日を午前 12 時間と午後 12 時間にわけてあらわす表示方法で、24 時間制表示とは 1 日を 24 時間としてあらわす表示方法です。

デュアルタイムモードにするには
時刻モード（曜日を表示）のときにⓂボタンを４回押します。
※この章での操作は、デュアルタイムモードで行ないます。

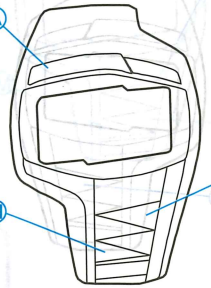
曜日



- 時のセットのとき、午前／午後（P）にご注意ください。
- デュアルタイムの「秒」は、現在時刻の「秒」に連動して表示されます。

5. セットを終わらす

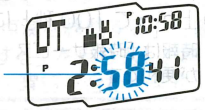




●デュアルタイムのセットで表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

3. 「分」を点滅させる

「分」が点滅



4. 「分」をセットする



分

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻・カレンダー合わせは時刻モードで行ないます。

■秒の合わせ方　～30秒以内の遅れ／進みの修正～

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

3. セットを終わらす

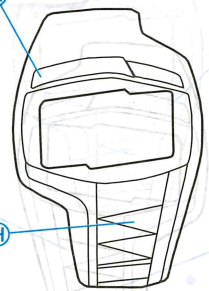
1. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。



「秒」が点滅

2.「秒」を合わせる





秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。

※時報は「時報サービス　電話117番」が便利です。

■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

4. セットを終わらす

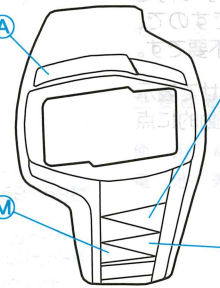
1. セット状態にする
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます。



2. 点滅を移動させる

秒 → 時 → 分 → 年 → 月 → 日 → 曜日 → 秒

操作**2**の「点滅を移動する」と操作**3**の「セットする」を繰り返し、時・分・年・月・日・曜日を合わせます。



●連続送り

Ⓗボタンは押し続けると、表示が連続して送られます。

3. セットする



時

12/24時間制切り替え
表示が点滅しているときに押すと、押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

- 12時間制表示とは1日を午前12時間と午後12時間にわけてあらわす表示方法で、24時間制表示とは1日を24時間としてあらわす表示方法です。

■ ご注意

- 時のセットのとき、午前／午後（P）および24時間制表示にご注意ください。
- 年は西暦で1995～2039年までセットできます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外はカレンダーの修正は不要です。
- 秒合わせおよび時刻・カレンダー合わせで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差± 15秒以内

基本機能：年･月･日･曜日･時･分･秒･午前／午後(P)／24時間制表示
フルオートカレンダー（1995～2039年）
※曜日セットあり。

ビートシーケンサー：リズムメモリー＝15個
ピッチ＝3種類
リバース機能付

トラックカウンター：トラック数（曲数）
カウント範囲＝99曲
トラックタイム
入力単位＝1秒
入力範囲＝(分レンジ)119分59秒
(時レンジ)1時間59分59秒
トータルトラックタイム
入力範囲＝(分レンジ)1439分59秒
(時レンジ)23時間59分59秒

アラーム機能：セット単位＝分　　電子音＝20秒間
時報　　毎正時に2回電子音で報時
リズムアラーム設定

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測、
1･2着同時計測

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
午前／午後（P）／24時間制表示（24）

セット機能：時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能（± 30秒アジャスト）、
リズムセット機能、リズム名セット機能、
アラームセット機能、
デュアルタイムセット機能

その他：自動復帰機能、モニターアラーム、
12/24時間制表示切り替え、
ELバックライト、ELオートライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CR-2016（電池別途販売）

電池寿命：約2年
1日あたり
ライト1回（2秒）、電子音20秒、
リズム再生1回(8回繰り返し)使用した場合
（※ただし、使用条件により電池寿命が短くなります。
上記条件に加え、1日にライトを
5回使用した場合　　約22ヶ月
10回使用した場合　　約16ヶ月）

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温　　度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁　　気

●磁気の影響はありません。

■薬　品　類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるためのものではありません。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。